

令和 6 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 新緑・無所属の会

氏 名 吉田 淳一

項 目	研 修 費		
費 目	旅 費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	7 / 23	33,710	八戸セミナー 旅費・宿泊費（愛知県名古屋市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
	/		JR乗車券・特急券 鮫⇒名古屋23,010円 名古屋市宿泊代10,700円
2	10 / 31	16,220	中核市サミット 旅費（秋田県秋田市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
	/		JR乗車券・特急券 本八戸⇄秋田16,220円
3	1 / 26	148,240	地方議員研究会 旅費・宿泊費（京都府京都市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
			JR乗車券・特急券 本八戸⇄京都54,920円 京都市宿泊代19,200円
			JR乗車券・特急券 鮫⇄京都54,920円 京都市宿泊代19,200円
4	2 / 12	85,720	八戸ふるさと交流フォーラム旅費・宿泊費（東京都） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
	/		JR乗車券・特急券 本八戸⇄東京28,640円 東京都宿泊代14,080円
	/		JR乗車券・特急券 鮫⇄東京28,920円 東京都宿泊代14,080円
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		283,890	備 考
合 計		283,890	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年5月21日

会派名 新緑・無所属の会
代表者名 伊藤 圓子 様

氏 名 吉 田 淳 一



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

1 旅行者 吉 田 淳 一 議員

2 期 間 令和6年7月23日（火）

3 場 所 愛知県名古屋市

4 目的及び内容 八戸セミナー2024

5 支出可能額（上限額） 46,690円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	7/23	八戸駅発 9:05	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	7/23	名古屋駅着 14:14	早見表					
帰	—	—						
り	—	—						
経路・滞在地 【7/23（火）】 9:05 八戸駅発(JR はやぶさ 14) 12:08 東京駅着 12:33 東京駅発 (JR ひかり 643 号) 14:14 名古屋駅着 15:00～18:00 八戸セミナー2024 会場：名古屋マリオット アソシアホテル (愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-4) ※7月24日(水)から26日(金) まで、経済常任委員会による 行政視察。 政務活動による調査視察は 7月23日(火)の八戸駅発から 名古屋市内泊までとなる。			鉄道運賃		1	12,540	12,540	八戸→名古屋 997.9k
			急 行 料 金	特	1	6,270	6,270	八戸→東京 631.9k
					1	4,390	4,390	東京→名古屋 366.0k
			1		△200	△200	閑散期割引 (東京→名古屋)	
				急				
			特別車両 料 金		1	5,600	5,600	八戸→東京 631.9k
					1	4,190	4,190	東京→名古屋 366.0k
			航空運賃					
			バス運賃					
			宿泊料		1	13,900	13,900	名古屋市内泊 (7/23)
小 計						46,690		
合 計 (小計×人数)						46,690	1 名	

八戸セミナー2024 行程

- ・ 日程：令和6年7月23日（火）
- ・ 場所：愛知県名古屋市
- ・ 出席者：吉田 淳一 議員

月 日	行 程	宿泊地
7月23日（火）	政務活動による調査視察 9:05発 八戸 → (はやぶさ14号) → 12:08着/12:33発 → 東京 → (ひかり643号) → 14:14着/14:25発 → 名古屋 → (移動) → 14:35着/18:15発 セミナー会場 → (移動) → 18:30着 宿泊先 15:00～18:00 八戸セミナー2024 会場：名古屋マリオットアソシアホテル (愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4)	名古屋市内泊
7月24日（水）	経済関係委員会による行政視察 (名古屋市 → 岡崎市 → 八戸市 移動)	
7月26日（金）		

令和6年8月5日

会派名 新緑・無所属の会
代表者名 伊藤 圓子 様

氏 名 吉 田 淳 一



調査視察等報告書

令和6年5月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|-----------------|
| 1 旅行者 | 吉 田 淳 一 議員 |
| 2 期 間 | 令和6年7月23日（火） |
| 3 場 所 | 愛知県名古屋市 |
| 4 行 程 | 八戸～JR～東京～JR～名古屋 |
| 5 支出額 | 33,710円 |
| 6 概 要 | 別紙のとおり |

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	
領収書等貼付欄					

2024年 7 月22 日

金額			¥ 33710
----	--	--	---------

10%对象(税込) 33,710 0%对象

内消費税 5064 円 上記の金額正に領収致しました。

nit 北日本トナベル
登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



極者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

吉田 淳一 様

令和6年7月8日
北日本トラベル株式会社
店長 大久保 正人
青森県八戸市世田町4-1
電話 0178-22-5151
担当 [REDACTED]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和6年7月23日～7月23日
ご旅行方面 愛知県名古屋市 方面
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。
お一人様当り 33,710円 総旅行代金 33,710円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	23,010			23,010	鮫～八戸～名古屋(片道)
宿泊代	1	10,700			10,700	7/23ヴィアイン名古屋駅前椿町朝付き
明細金額小計	1	33,710			33,710	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計	1	33,710			33,710	消費税10% 3,064円

特記事項 JR料金(ジパング外):32,910円

調査視察報告書

- 1 視察日 令和6年7月23日(火) 15時～18時
- 2 内 容 八戸セミナー2024
- 3 会 場 名古屋マリオットアソシアホテル 17階コスモス
(名古屋市中村区名駅1-1-4)
- 4 主 催 八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会
- 5 後 援 青森県、青森県企業誘致推進協議会、(独)中小企業基盤整備機構東北本部、
(株)日本政策投資銀行、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)、八戸商工会議所、
三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町
- 6 参加議員 新緑・無所属の会 吉田 淳一

7 セミナー内容

① 熊谷市長挨拶及び八戸市の紹介

熊谷市長から、八戸市の立地環境、八戸市への企業進出、更なる飛躍へのチャレンジ、支援制度の紹介、八戸のライフスタイルについて、それぞれ紹介がなされた。

② 立地企業による講演

中央発條株式会社 執行役員 兼 中発テクノ株式会社 取締役社長 渡辺 圭 氏

渡辺執行役員から、「八戸発内製技術で支える競争力」と題して、主に会社概要(国内・海外ネットワーク、自動車・非自動車の製品概要等)、八戸進出の経緯、業務の位置付け、業務内容、人材育成、会社の目指すべきところ、技術競争力を支える・八戸についてそれぞれ紹介がなされた。

③ 八戸港の紹介

青森県県土整備部港湾空港課 課長 橋本 公学 氏

常田課長から、「すごい!八戸港」と題して、コンテナサービス、数字で見る八戸港、八戸港PR動画(映像)、カーボンニュートラル、コンテナ利用増に向けて、八戸港の状況について、それぞれ紹介がなされた。

④ 情報交換会

51階シリウスにて実施され、18時をもってセミナーが終了となったもの。

8 研修総括

今回の八戸セミナー2024は7月23日に名古屋、24日に東京を会場として開催されたものであり、名古屋会場は立地企業、製造関連業、船主、物流関連業、金融機関、地元メディアなど約90名の参加者がおり、製造関連業をはじめとした多様な業種の方々と名刺交換や情報交換の会話が出来るセミナーとなった。セミナー会場はほぼ満席、後方では記者が取材をするなど参加者の関心の高さがうかがえた。

熊谷市長の八戸の紹介は、安定した気候、陸・海・空の交通アクセスの充実によって産業集積が進み、製造業出荷額では北東北3県では第2位である点をアピールし、そして更なる飛躍へのチャレンジとして、北インター第2工業団地の造成状況、分譲受付とスケジュール、モーダルコンビネーション物流拠点性の可能性を提案しながら、産業都市八戸のさらなる発展の可能性を訴求されていた。当市は、北東北、東北のなかで産業都市として更なる基盤整備が進められ、さらなる産業発展が期待できると思われる。

1948年に中央発條株式会社を設立し、誘致企業となった中央発條株式会社（中発テクノ株式会社）の講演では、「ばねとコントロールケーブル」の総合メーカーとして、八戸に中発テクノ株式会社を開設。コイルばね形状測定機、スタビライザ耐久試験機などの開発をし、新たにIot機器を使用したモニタリングシステムやスマホアプリの開発を手掛けるなど内製技術競争力の源泉として重要な拠点となっており、地元雇用も20名を超える規模とのことであった。今後も、八戸で自動車部品設計の高機能化・高品質化にこたえていくため、優秀な人材を育成し、内部開発の技術力の向上にこだわっていききたいとの強い思いが伝わる講演であった。

青森県県土整備部港湾空港課の橋本課長による八戸港の紹介では、国際コンテナ航路の開設とサービス状況に触れながら、八戸港の輸出入のバランスの良さ、コンテナ取扱量の順調な推移のなかでも中国・韓国航路が伸びていること、近年ではアメリカ向けも伸びていることが特徴であるとのこと。2023年の速報値では9年ぶりに5万TEUを下回り、昨今の国際情勢の影響を受けた結果となったようである。また、八戸港のカーボンニュートラルに向けた取組が進められており、令和6年3月22日に「八戸港港湾脱炭素化推進計画」が策定されたとのことであった。

さらなる事業拡大に向けて、トラックで他港まで輸送されている、他港利用の輸移出入の貨物について、八戸港を利用する新たな物流ルートを構築するためのトライアル輸送に要する経費に補助を行うこと、八戸港を新規に利用する貨物や前年度に他港を利用していた貨物を、八戸港にシフトする荷主に対する補助、八戸港からの距離に応じた陸送費の補助などを行うこと、県独自の取組としても、新たにコンテナ利用増に向けて潜在貨物の掘り起こしに力を入れており、充実した補助制度による支援制度と組み合わせることで、八戸港のますますの物流拠点化が期待でき

るものであった。

今回のセミナーによって、八戸に関心を持つ企業が増え、中部圏からの新たな企業又は事業所の開設のほか、新たな定期航路の開設が増えていくことを期待するものである。八戸の持つポテンシャルの高さを活かしながら、八戸北インター第2工業団地の分譲と立地促進をし、自治体と民間企業が地域経済の発展に取り組むことで、物流2024問題などの課題もチャンスに変え、さらなる産業都市の発展に寄与するものであると考えるものである。

第3号様式 (第6条、第8条関係)

令和6年8月21日

会派名 新緑・無所属の会
代表者名 伊 藤 圓 子 様

氏 名 伊 藤 圓 子



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 伊 藤 圓 子 議員
- 2 期 間 令和6年10月31日(木)
- 3 場 所 秋田県秋田市
- 4 目的及び内容 中核市サミット 2024 in 秋田
- 5 支出可能額 (上限額) 20,640円
【内訳は、旅費額計算書 (第4号様式) に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎				
行	10/31	本八戸駅発 7:43	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考
き	10/31	秋田駅着 11:25	早見表				
帰	10/31	秋田駅発 18:16					
り	10/31	本八戸駅着 21:29					
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	2	4,070	8,140	本八戸⇄秋田 237.6k
			急 行 料 金	2	1,870	3,740	八戸⇄盛岡
				2	1,580	3,160	盛岡⇄秋田
			特別車両 料 金	2	2,800	5,600	盛岡⇄秋田
			航空運賃				
			バス運賃				
			宿泊料				
			小 計			20,640	
			合 計（小計×人数）			20,640	1名

中核市サミット 2024 in 秋田 行程表

日程: 令和6年10月31日 (木)

行先: 秋田県秋田市

【伊藤 圓子 議員】

月 日	行 程
10月31日 (木)	7:43発 本八戸 → (JR八戸線) → 7:54着/8:11発 八戸 → (はやぶさ10号), 8:43着/9:46発 盛岡 → (こまち5号), 11:25着 秋田 → (移動) → 11:35着/11:50〜受付開始 あきた芸術劇場ミルハース → (移動) → 17:10着/18:16発 秋田 → (こまち46号), 19:48着/20:37発 盛岡 → (はやぶさ41号) → 21:08着/21:21発 八戸 → (JR八戸線), 21:29着 本八戸 12:50〜17:00講演会

令和6年11月22日

会派名 新緑・無所属の会
代表者名 伊藤圓子様

氏 名 伊藤圓子



調査視察等報告書

令和6年8月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

1 旅行者 伊藤圓子議員

2 期 間 令和6年10月31日(木)

3 場 所 秋田県秋田市

4 行 程 別紙のとおり

5 支出額 16,220円

6 概 要 別紙のとおり

中核市サミット 2024 in 秋田 行程表

日程:令和6年10月31日(木)
行先:秋田県秋田市

【伊藤 圓子 議員】

月 日	行 程
10月31日 (木)	7:43発 本八戸 → (JR八戸線) → 7:54着/8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 8:43着/9:46発 盛岡 → (こまち5号) → 11:25着 秋田 → (移動) → 11:35着/11:50~受付開始 盛岡 → (移動) → 17:10着/18:16発 秋田 → (こまち46号) → 19:48着/20:37発 盛岡 → (はやぶさ41号) → 21:08着/21:21発 八戸 → (JR八戸線) → 21:29着 本八戸

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	/
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123576

2024年11月22日

伊藤 圓子

様

金 額			¥	1	6	2	2	0
-----	--	--	---	---	---	---	---	---

但し 10/31 TR付12

10%対象(税込) 16220 0%対象

内 消費税 1475 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙秋田
日帰り

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	



北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151代

扱 者 印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

伊藤 圓子 様

令和6年10月27日
北日本トラベル株式会社
 店長 大久保 隆
 青森県八戸市廿三日町4-1
 電話 0178-22-5151
 担当 [REDACTED]
 登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
 ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
 ご旅行期間 令和6年10月31日～10月31日
 ご旅行方面 秋田県秋田市 方面
 行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 16,220 円

明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	16,220		16,220	10/31 本八戸～秋田(往復)
明細金額小計				16,220	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				16,220	消費税10% 1,475円

特記事項

研修報告書

- ・ 日時 令和 6 年 1 0 月 3 1 日 (木) 12 : 50 ~ 17 : 00
- ・ 目的地 秋田県秋田市
- ・ 目的 中核市サミット 2024 in 秋田
- ・ 参加議員 伊藤 圓子

中核市サミット 2024 in 秋田

日時 2024年10月31日
12:50～17:00

場所 あさひ芸術劇場ミルハス

主催者 中核市市長会（会長 福島市長 木幡浩氏）

テーマ 『中核市が創る「ひ・まち・くらし」の未来』

《基調講演》 13:35~14:35

洋上風力発電によるカーボンニュートラルと地域振興

講師 荒川 忠一 氏
東京大学名誉教授 (1951生、宮城県、東大大学院卒)
世界風力エネルギー学会 副会長

- 荒川氏は長年風力発電の研究に携わり、日本における風力発電と中Vと再生エネルギーの導入促進と成長を目指し、様々な提案と実践に関わっている。
- 2000年より風力発電の研究。海外の風力発電事情に詳しい。特に、スペインの洋上風力発電を視察したのが始まり。
- 24MWの風車20台が洋上に並んだ景色は美しいと印象と語る。風車の配置等はデザイナーに依頼し採用した円形配置の配置。→「世界で最も美しいサイトフォーム」と言われている。
- 20台の風車のうち5台は市民出資により市民風車で、地球温暖化防止対策への市民貢献だ。
- オランダのキンデルダイクは100年前にカンガイル設備とに設けられた風車で有名であり、世界遺産となっている。この風景は昼もライトアップされる夜(祭りの時期)も素晴らしい。風車の景色を普及したいという思いを語ったという。
- 東京都お台場の東京臨海風力発電所の風車のライトアップは
- 石井幹子氏(ライトアップ化)の提案。(風車の寿命は20年で2024年に撤去)
- 風車の大型化が進み、秋田の洋上風力は12MWクラス。20MWクラスも設計され始め、高土俵相模原(東京のリーゼンバール)、地域と自然、景観とENVと調和したいと述べている。
- 地球温暖化の現状
IPCCのデータで、1880年から2012年の間に世界平均地上気温が0.85℃上昇。2100年には4~5℃上昇。パリ協定は上昇を1.5℃まで抑えようとして2050年のカーボンニュートラル達成と議定書合意。地球温暖化の影響による様々な災害や生態系の異常が顕著
- 1997年京都議定書で定められ、2015年パリ議定書。2020年菅首相によるカーボンニュートラル宣言。
これにより、お台場(国と共に再生エネルギーなどの活動がすすむ)になった。

- 2021年 第6次エネルギー基本計画
現在第7次エネルギー 〃 策定中。
- 世界のエネルギー発電比率
 - ・ EV、ドイツ、イギリス、スペインなど
多くは、風力発電が主力。
 - ・ 日本、イタリアは、太陽光が主力。

- 洋上風車
 - ・ 着床式洋上風車
水深50m程度、海底に固定する方式。――「モノパイル」
 - ・ 浮上式洋上風力
水深100m以上は、浮上式で、スパー型とセミサブ型がある。工事の便益で深い港が必要。

- 日本の風力発電の電源構成は、まだ0.9%で、1%に届かない。これを20%程度にする必要あり。なぜなら、再生可能エネルギーの中で、一番経済性がある。

- 日本の風車製造の撤退
・ 政府に頼り、トヨタが示したとおり、国内風車メーカーは撤退し、増々、日本は風力発電の後進国となり、海外に依存する。

- ・ 2030年には、5%を目指して、特に、秋田県の洋上風力は、先頭を走っている。

- ・ 現在洋上風力発電工作る時は、コーロパの3社に依頼

- 陸上風力発電の総設備容量

- ・ 中国メーカーが、元々、外国からの風車に頼らざるを得ないのは、エネルギーの安全保障の上で、問題ではない。

	2001年	2011年	2021年末
GW 風力	24GW	238GW	1021GW
TW 太陽光			
ITW=1000GW			

- ・ 洋上風力の総設備容量は、まだ低い(5GW)。20年を以て、強かに押さえておきたいので、強かに推進したい。

- 洋上風力発電のサプライチェーン
 - ・ 風車本体、基礎製造、電気系統、O&M (運転管理、メンテナンス管理) 等の総計で、発電

- 経済性の課題
LCOE (Levelized Cost of Electricity) 価格で決まる。
1MWhあたりの発電費用

- ・ 地域振興の観点、風車の利権は、部品と地元企業に、製造、設置作業、運転、維持管理も含めて、地元企業に、サプライチェーン参加すべき。

- 風力発電
 - ・ 日本 15,000円/度 (1ドル=100円換算)
 - ・ 他国 10,000円/度と安い
 - ・ 日本は送電費用や社会受容問題等で、コスト高になっている。

- 太陽光発電
 - ・ 今後も価格が下るに
 - ・ 経済性を考えた時は、再生可能エネルギーとしては、風力発電を最優先に、これに劣るのを、平素の姿だ。

○日本への洋上風力発電導入

・港湾から始まる

例: 秋田と能代
次に石狩

2025には、北九州

・港湾法改正

漁業者への影響が比較的少ない

ので、港湾から始まる

・「再生エネルギー利用法」成立後

一般海域での洋上風力発電を
可能にし事業者を公募し実施
する方向で検討中。

現在、これ E-E まで含めると
を想定した法律改正も検討中。

(これより12海里(20km)の領海
までだが、200海里(300km)まで
の範囲へ)

・上記の範囲での浮体式洋上

風力発電でこれは世界で

6番目のエネルギー供給国となる。

※ 秋田県南部沖も NEDO の候補地。
将来的に浮体式洋上風車を設置へ。

・浮体式洋上風力技術組合

「FLOWRA (フローラ)」設立。

○洋上風力発電の市場

・世界でマーケットは広がっている

欧州から米国、次に日本と

・2050年には、電源力構成の

1/3は、洋上風力発電を中核

にしたい。

... JNPA による ウィンド・ビジョン

・経済産業省は、1年以内

に計画を目指す。

・洋上風力発電導入による新しい産業

の創出、成長、人材育成による

若者の定着、転入で地域活性化から人口増加に繋がる。

・政府「洋上風力人材育成推進

協議会」を設立し、人材育成に

関するサービス提供

・地元大学と連携し人材育成

○風力発電の風車のつくる景観と

アートで、迷惑施設のイメージ
拭き払う。

・大地の芸術祭にない「海の

イベントなどの企画に実施を。

・再生エネルギーの倉りり出さずアート

芸術もある。

<< パネルディスカッション 第1会場 >> (14:50 ~ 16:10)

「再生可能エネルギーが創るまちの未来」

○ コーディネーター

佐藤 裕之氏

(株) ウェルティ・ジャパン 代表取締役社長

○ コメンテーター

荒川 忠一氏

東京大学名誉教授 / 世界風力エネルギー学会 副会長

○ パネリスト

(発言内容は資料参照)

松本真氏 尼崎市長

前田晋太郎氏 下関市長

穂積志氏 秋田市長

1 松本 尼崎市長

「阪神タイガースファーム(ゼロカーボン
ベースボールパーク)」による国民運
集まちづくり

ベースボールパーク」と銘打つ。

令和4~9年度に計画期間に
総事業費160億円、交付上限度額
35億円。

先行地域内の電力使用にかか

○ R3年度「気候非常事態行動宣言」
を表明。H24年度に低炭素社会
実現に向け高い目標値を掲げ

年内CO₂排出量約2900トンに

ゼロにするCO₂削減効果に

見込んでいる。

「環境モデル都市」選定を受け

○ ZEBの取組で省エネの徹底

たことにより「ECO未来都市・

タイガース野球場

・尼崎宣言」「尼崎版グリーン

ZEB Oriented

フェール」策定と先進的に

・選手場及び尼崎県庁

ゼロカーボン社会を目指している。

ZEB Ready

○ タイガースファームの手狭老朽化を

○ ゼロカーボンベースボールパーク内施

課題となり、新施設と小田南公

設も近隣公りで

園に誘致。

太陽光発電(720kW)

蓄電池(230kW)

○ 脱炭素先行地域の選定を受け

不足電力(市庁舎・センター・廃棄物

整備計画のタイトルも「ゼロカーボン

発電の余剰電力活用

○ 阪神バス26台のEV化も2025年4月
から全線9列車運行及び駅施設
等で使用する電力は全て脱炭素
化の予定

○ 基本計画策定にあたっては市民持
に移動先となる地域住民の意向
調査をし、市民と共に、また阪神
電鉄(株)と「まちづくり協定」を
締結し、移動地域の活性化を
図るなど、官民連携で取り組む。

2. 前田下関市長

* 脱炭素先行
地域

○ 第5回脱炭素先行地域
コンソーシアム
全国38道府県
108市町村

再生可能エネルギーが中心の取り組み

「ゼロたん 4チャレンジ/しものせき」

○ 第5回脱炭素先行地域に選定される

○ 国内最大級のバイオマス発電所を誘致

・ 下関バイオマス発電所

下関バイオマスエナジー合同会社

発電出力 75MW

発電量 5億kWh/年

(一般家庭の14万世帯)

パレット使用料 30万円/年

運転開始 R4(2022)2月

・ 長府バイオマス発電所

長府バイオパワー合同会社

75MW

5.2億kWh/年

(一般家庭の14万世帯)

30万円/年

R7(2025)1月予定

◎ 地域新電力

(株)海響みらい電力設立(R6年6月6日)

下関市 (出資率)33.9%

MDT総合研究所(株) 53.7% (県内企業)

山口合同ガス(株) 10.0% (福岡企業)

"リールパートナーズ"(株) 2.0% (県内企業・市店舗有)

エナシエント(株) 1.0% (県外企業)

石油資源開発(株)

(株) 東京エナシエ

(株) 長府製作所(市内企業)

(株) 川崎近海汽船

(株) MDT総合研究所

* 下関市・民間4社が共同出資(資本金500万)

(県内企業)

* 2025年4月から公共施設へ電力供給開始予定

* 収益は地域活性化事業へ

3

穂積秋田市長

「再生可能エネルギーが創り出す未来」

○秋田県における風力発電

秋田県沖は、遠浅の海底地形で
風力発電に適している。

・洋上風力発電導入量 (R5.3月)

全国1位で 13.9万kW

※陸上風力発電導入量 (R4.3月)

全国1位は青森県で 21.9万kW

2位は秋田県で 64.9万kW

2000年代より導入が急増

全県で 282基設置

○秋田県における洋上風力発電

・全県10の促進区域のうち県内4区域

指定で合計149基設置予定

出力は R12(2030年)までに 32200万kW

厚岸2基分の見込み

・R5.1月 秋田港で13基

出力0.42万kW × 13基 = 5.5万kW(4万世帯分)

・R10.6月 21基運転開始予定

(一般海域での着床式では国内初)

出力1.5万kW × 21基 = 31.5万kW(30万世帯)

※秋田市

3214万世帯

約2.5倍

○R5年度「新エネルギー産業推進室」新設

○秋田市「新エネルギービジョン策定(R6.3)

○テニサーセンター誘致

海底ケーブルの整備

石炭〜秋田ルート(2021.10増設発表)

秋田〜九州ルート(未整備ルート)

秋田市の優位性を示し誘致推進

○国内最先端の新エネルギー産業都市へ

・石炭市・秋田市で R6.7月

共同研究会を設立

開始

・研究テーマ

① 両市連携による洋上風力サテライト
→ 構築

② 再生エネルギーの地産地消に向け
電力需要モデルの構築

③ 人材育成と産業・サービスの
振興

石炭市は

R6.1月洋上風力

発電商業運転

開始

洋上風力効果3千億円

秋田8事業試算 雇用創出3万人

秋田県沖で計画が進む洋上風力発電の8事業が、同県内に3560億円の経済効果をもたらす。3万4千人の雇用を生み出せるとの報告書を、イー・アール・エム日本(横浜市)がまとめたことが16日分かった。県内企業が資機材や人材な

果は事業化に向けた漁業への影響や気象、風況といった調査を秋田県の企業が受注することなどで1664億円、風車の設置や陸上工事といった建設関連で932億円と算出した。ほかに商業や不動産などへの波及を見込んだ。経済効果と雇用の拡大には、現地企業が洋上風力の運転と保守業務へ参入する機会が重要だと提言。近隣県の企業との連携がサブ

ライチェーン(供給網)の強化につながると指摘した。潜在的な経済効果は最大で約5700億円、雇用数も約5万2千人に上ると推計。担当者は「今回の分析を基に、地域社会が中長期的な恩恵を受けるようにしてほしい」と話している。

政府が2月に閣議決定したエネルギー基本計画で、再生可能エネルギーを2040年度の電源構成のつち4・5割程度に引き上げる目標を掲げた。洋上風力はその「切り札」で、秋田県沖は恵まれた風況から全国でも開発が先行している。

一方で物価高に伴う開発費の負担増大で、世界的に洋上風力の撤退や縮小の動きが相次いでいる。三菱商事は秋田、千葉県の3区域の事業で24年4～12月期に522億円の減損損失を計上。事業継続などをセロベ

2025.4.17 東奥日報

○ 2025(17)年4月17日 東奥日報の記事
によれば、洋上風力発電関連事業で、
1664億円の県内への経済効果と
3万4千人の雇用創出効果があるとの
報告書が出された。
潜在的効果はさらに上回り、政
府の後押しも相俟って先行取り組み
に弾みが出ている。同時に他県
域での事業撤退もあり、秋田県沖
の事業に水と差が広がる見込み。

願い、成功を祈る気持ち。
高まる。
県市の次世代エネルギー
水素を考へ取組む也、と期待
を込めた。
CNの実現、関連企業も
水素。「水素社会は、
気候変動に相対して
との思いを強くした。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年12月13日

会派名 新緑・無所属の会

代表者名 伊 藤 圓 子 様

氏 名 伊 藤 圓 子
吉 田 淳 一



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 伊 藤 圓 子 議員
吉 田 淳 一 議員
- 2 期 間 令和7年1月26日（日）～令和7年1月28日（火）
- 3 場 所 京都府京都市
- 4 目的及び内容 人口減少少子化に備える地方の施策
- 5 支出可能額（上限額） 194,480円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【伊藤議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行	1/26	本八戸駅発	9:50	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	1/26	京都駅着	15:23	早見表					
帰	1/28	京都駅発	12:54						
り	1/28	本八戸駅着	18:29						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	1151.6k	13,750	24,740	本八戸⇄京都（往復割引）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	5,280	10,560	東京⇄京都 513.6k
						2	△200	△400	閑散期割引（1/28）
					急				
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
						2	5,400	10,800	東京⇄京都 513.6k
				航空運賃					
				バス運賃					
				宿泊料		2	13,900	27,800	
				小 計					
合 計（小計×人数）						97,240	1名		

人口減少少子化に備える地方の施策 in 京都

・日程：令和7年1月26日（日）～1月28日（火）

・場所：京都府京都市

・出席者：新緑・無所属の会

【伊藤 圓子 議員】

月日	行程	宿泊地
1月26日 (日)	9:50発 本八戸 → (JR八戸線) → 9:59着/10:17発 八戸 → (はやぶさ16号) → 13:04着/13:12発 東京 → (のぞみ35号) → 15:23着 京都 → (移動) → 宿泊先	京都市内泊
1月27日 (月)	【講座】①10:00～12:30 あなたの街のデータで確認する人口減少と国の施策 ②14:00～16:30 これから地方にできる人口減少対策 会場：京都JAビル ①10:00～12:30 ②14:00～16:30 宿泊先 → (移動) → 京都JAビル → (移動) → 宿泊先	京都市内泊
1月28日 (火)	12:54発 京都 → (移動) → 15:06着/15:20発 東京 → (はやぶさ31号) → 18:11着/18:20発 八戸 → (JR八戸線) → 18:29着 本八戸	

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅費額計算書

【吉田議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎						
行	1/26	鮫駅発	9:36	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
き	1/26	京都駅着	15:23	早見表						
帰	1/28	京都駅発	12:54							
り	1/28	鮫駅着	18:48							
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		1158.5k	13,750	24,740	鮫⇄京都（往復割引）	
				急 行 料 金		特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
							2	5,280	10,560	東京⇄京都 513.6k
							2	△200	△400	閑散期割引（1/28）
				急						
				特別車両 料 金			2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
							2	5,400	10,800	東京⇄京都 513.6k
				航空運賃						
				バス運賃						
				宿泊料			2	13,900	27,800	
小 計						97,240				
合 計（小計×人数）						97,240	1名			

人口減少少子化に備える地方の施策 in 京都

・日程：令和7年1月26日（日）～ 1月28日（火）

・場所：京都府京都市

・出席者：新緑・無所属の会

【吉田 淳一 議員】

月日	行程	宿泊地
1月26日 (日)	9:35発 鮫 → (JR八戸線) → 9:59着/10:17発 八戸 → (はやぶさ16号) → 13:04着/13:12発 東京 → (のぞみ35号) → 15:23着 京都 → (移動) → 宿泊先	京都市内泊
1月27日 (月)	【講座】 10:00～12:30 あなたの街のデータで確認する人口減少と国の施策 14:00～16:30 これから地方にできる人口減少対策 会場：京都J Aビル ①10:00～12:30 ②14:00～16:30 宿泊先 → (移動) → 京都J Aビル → (移動) → 宿泊先	京都市内泊
1月28日 (火)	宿泊先 → (移動) → 12:54発 京都 → (のぞみ370号) → 15:06着/15:20発 東京 → (はやぶさ31号) → 18:11着/18:20発 八戸 → (JR八戸線) → 18:48着 鮫	

令和7年2月5日

会派名 新緑・無所属の会
代表者名 伊 藤 圓 子 様

氏 名 伊 藤 圓 子
吉 田 淳 一



調査視察等報告書

令和6年12月13日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会
政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告しま
す。

- 1 旅行者 伊 藤 圓 子 議員
吉 田 淳 一 議員
- 2 期 間 令和7年1月26日（日）～令和7年1月28日（火）
- 3 場 所 京都府京都市
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 支出額 148,240円

人口減少少子化に備える地方の施策 in 京都

・日程：令和7年1月26日（日）～ 1月28日（火）

・場所：京都府京都市

・出席者：新緑・無所属の会

【伊藤 圓子 議員】

期日	行程	宿泊地
1月26日 (日)	9:50発 本八戸 → (JR八戸線) → 9:59着/10:17発 八戸 → (はやぶさ16号) → 13:04着/13:12発 東京 → (のぞみ35号) → 15:23着 京都 → (移動) → 宿泊先	京都市内
1月27日 (月)	【講座】①10:00～12:30 あなたの街のデータで確認する人口減少と国の施策 ②14:00～16:30 これから地方にできる人口減少対策 会場：京都J Aビル ①10:00～12:30 ②14:00～16:30 宿泊先 → (移動) → 京都J Aビル → (移動) → 宿泊先	京都市内
1月28日 (火)	12:54発 宿泊先 → (移動) → 京都 → (のぞみ370号) → 15:06着/15:20発 東京 → (はやぶさ31号) → 18:11着/18:20発 八戸 → (JR八戸線) → 18:29着 本八戸	

人口減少少子化に備える地方の施策 in 京都

・ 日 程：令和7年1月26日（日）～ 1月28日（火）

・ 場 所：京都府京都市

・ 出席者：新緑・無所属の会

【吉田 淳一 議員】

月 日	行 程	宿泊地
1月26日 (日)	9:35発 鮫 → (JR八戸線) → 八戸 → 9:59着/10:17発 八戸 → (はやぶさ16号) → 13:04着/13:12発 東京 → (のぞみ35号) → 15:23着 京都 → (移動) → 宿泊先	京都市内
1月27日 (月)	【講座】 10:00～12:30 あなたの街のデータで確認する人口減少と国の施策 14:00～16:30 これから地方にできる人口減少対策 会場：京都J Aビル ①10:00～12:30 ②14:00～16:30 宿泊先 → (移動) → 京都J Aビル → (移動) → 宿泊先	京都市内
1月28日 (火)	宿泊先 → (移動) → 12:54発 京都 → (のぞみ370号) → 15:06着/15:20発 東京 → (はやぶさ31号) → 18:11着/18:20発 八戸 → (JR八戸線) → 18:48着 鮫	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	2
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123699 1/26~28

2025年2月4日

郷

伊藤 圓子 様

金 額	¥	74	1	20
-----	---	----	---	----

但し 1/26~28 JK宿泊代と12

10%対象(税込) 74120 0%対象

内 消費税 6738 円 上記の金額正に領収致しました。

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印



領 収 証

No.123700

2025年2月4日

吉田 淳一 様

金 額	¥	74	1	20
-----	---	----	---	----

但し 1/26~28 JK宿泊代と12

10%対象(税込) 74120 0%対象

内 消費税 6738 円 上記の金額正に領収致しました。

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	

登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

伊藤 圓子

様

令和7年1月27日
北日本トラベル株式会社
店長 太田 正人
青森県八戸市廿三日町九
電話 0178-22-5151
担当 [REDACTED]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年1月26日～1月28日
ご旅行方面 京都府京都市
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 74,120 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	54,920			54,920	1/26～28 青八戸～東京～京都(往復)
宿泊代	1	19,200			19,200	1/26(2泊) アパホテル京都駅前
明細金額小計					74,120	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					74,120	消費税10% 6,738円

特記事項 宿泊：シングルルーム 朝付き

ご旅行代金明細書

吉田 淳一 様

令和7年1月26日
北日本トラベル株式会社
店長 大久保 三太郎
青森県八戸市世帯町1-1-1
電話 0178-22-5151
担当 [REDACTED]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年1月26日～1月28日
ご旅行方面 京都府京都市
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 74,120 円

明細内訳

項目	人員		台数・ 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	54,920			54,920	1/26～28 岐～東京～京都(往復)
宿泊代	1	19,200			19,200	1/26(2泊) アパホテル京都駅前
明細金額小計					74,120	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					74,120	消費税10% 8,738円

特記事項 宿泊：シングルルーム 朝付き

調査報告書

セミナー参加

日時 令和7年1月26日(日)～1月28日(火)

場所 京都府京都市

会場 京都 JA ビル

主催 地方議員研究会

講師 黒瀬 雄大

参加議員 伊藤 圓子、吉田 淳一

講演内容

- ・あなたの街のデータで確認する人口減少と国の施策

(10:00～12:30)

- ・これからの地方にできる人口減少対策

(14:00～16:30)

調査事項の説明

- ・消滅可能性自治体とは、元総務大臣の増田寛也氏を中心として作成された「増田レポート」の消滅可能性自治体論が大きな衝撃を与えた。
- ・今から備える人口減少の施策、人口減少が進行する中で、市民へのサービスを落とさせないためには、自前主義と個別最適を捨て、行政の業務に集中する必要がある。
- ・なぜ地方自治体に DX が必要か。生産年齢人口の減少、職員の減少、地方自治体の役割多様化を乗り切るためには自治体 DX が必要である。
- ・デジタル人材の確保、育成の進め方で、最終的な目標は「内部人材の育成」である。
- ・地方公共団体におけるデジタル人材の確保、育成の推進は、情報システムの標準化の対応を含め、自治体 DX 推進計画期間が令和 7 年までとされているなど、地方公共団体におけるデジタル化は喫緊の課題である。

所感

I 地方消滅、東京一極集中が招く人口急減、このままでは 896 の市町村が消滅しかねないとの説明があった。減少を続ける若年女性人口の予測から導き出された衝撃のデータである。若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果、日本は人口減少に突入した。

多くの地方では、すでに高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増してゆく。

豊富なデータをもとに日本の未来図を描き出し、地方に人々がとどまり、希望どおりに子どもを持てる社会へ変わるための戦略を考えなければならぬと感じた。

II 地方自治体の役割多様化を乗り切るためには、自治体 DX が必要である。

DX は、手段であって目的ではない。本当の目的は、職員減少、役割の多様化、財政制約の中で、住民福祉の増進を果たすことである。また、議員が本当にチェックすべきなのは「どれだけデジタル化が進んだのか」ではなく、「どれだけ業務のあり方を変えられたのか」だと感じた。当市においても検討すべき内容があり、大変有意な調査視察であった。

あまの町のデータで確認する 人口減少と国の施策

No. 1

講師

黒瀬 広真大

元大阪府交野市議会議員

現職のコンサルタント、データサイエンティスト

自治体や民間企業でのDX等

$$\Delta \text{人口増減} = \text{A} + \text{B}$$

$$\text{A} \text{ 自然増減} = \text{出生数} - \text{死亡数}$$

$$\text{B} \text{ 社会増減} = \text{転入数} - \text{転出数}$$

・ B 自治体の取組により増は可能だが

全人口には変りなし

日時

2025(平成27)年1月27日

A どちらを増にしない限り全人口は増え続ける

これは各々の地方自治体の頑張りに

増えにくい困難

主催

地方議員研究会

場所

京都市

※ R5-自然増〜40自治体のみ(沖縄県中)

(社会増〜1/2自治体(外国人の住居で増えたり))
社会減〜1/2自治体で増えたり

(1) あまの町の人口データ

△自治体の人口の調査(2つ)

・ 入都市の人口増減の内訳(R5)

$$\text{A} = 2197^{\wedge} = 1158^{\wedge} - 1355^{\wedge} \quad (-0.99\%)$$

$$\text{B} = 850^{\wedge} = 6376^{\wedge} - 7191^{\wedge} \quad (-0.38\%)$$

・ 国調(国勢調査)人口

戸別調査を1回のみ正確

つまりは、5年に1度の調査のみ、選挙区別

などにはアクセスが

・ 静岡県島田市

$$\text{B} = 27^{\wedge} = 2587^{\wedge} - 2586^{\wedge}$$

15~24才...転出する300

24~25才 転入(戻り来る)

30~40才も戻り来ている(U&I)

出生率は1.5と高いので、戻り来れば、子どもは生まれる

県民の多いところは、国調人口も多い

・ 住基(住民基本台帳)人口

ネットは、毎年でも算出が可能

△あまの町の人口データ

・ 入都市

(国調人口)	(住基人口)	(住基人口)
2020 10%	2020 1%	2024 1%

223,415人 227,812人 218,182
-19,630人

転出先(5~10歳の子供)と

年代別には、10代~20代調査

転出先・転入先を把握する

“なぜ?”とアンケートに入ろう

△ 将来推計人口

1) 日本将来推計人口

・総人口は50年後、現状の7割に減少

・65歳以上の人口は50年後4割に

・総人口1億人下回る時期

2050年・2056年に人口減少

速度は、大都市に集中

2019~2022のダメージ(新型20+)が

出生率に与える影響

2023年よりデータ下振れは20+の影響

出生率を高くするに出生率(出生率)

の機会を7割にしていることが

とくに多い影響はない

・人口減少の速度は遅くはない

2) 本県各地市町村の将来人口予測

2020年・100万人・639 2050年人口

・昭島市 94.4

・茅ヶ崎市 93.8

・島田市 75.0

・出水市 69.8

・八戸市 67.6

・日南市 59.8 産業の形態が変化する

・有田市 55.0 雇用が減少している

・萩市 47.4 令和の合併?

人口ロジック

地方自治体の総合政策でつくる

人口ロジックと人口減少の現実で(人口減少)

政策へのダメージをどう考えるか!

(水道、学校の施設等々)

財政運用、補助金と関係ない

やりくりを、やりねばならぬ

である

△ 合計特殊出生率の深堀分析

(2) これから人口減少すると何か困るのか!

・育休、保育所増やすの効果があがる?

→ 育休充実には上らず

・働く日数(60時間以上)が多いほど

出生率低い

・1日当りの通勤等の時間が多いほど

出生率低い

△ 人口減少が地域に与える課題

多岐にわたる (参)資料P25)

△ 課題に対する対策

(参)資料P26)

・日本の場合

出会い → 結婚 → 出産

1~3年

1~3年

(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略とは
何だったのか

△国が用意している施策

多岐にわたる課題への施策に亘る

国のX=2- も多数

・まち・ひと・しごと総合戦略

・デジタル田園都市国家構想

これら国の交付金制度を軸に

自治体の自治体・地域再生・地域

創生計画を策定した

これら自治体の自治体の地域
課題解決を考へて作られている。

△市の独自施策の前提が与える

・楽観的な仮定(根拠不明な
ものでいい)に 将来人口推
計を基にしている

→市の人口ビジョンが、どのような仮定
を置いているか。

その仮定の前提となることで、どの計画に
どのような影響があるか。

・岸和田市を例に挙げ、その仮定が非常
に甘く、結果的に全く目標値とは
遠い合計特殊出生率と示す。

△地方版総合戦略の見方

・日南市のまち・ひと・しごと創生総合
戦略(参資料29)の第2章には、

国の目標をまちが搭載している。

本来は地方が独自で考へて策定する
ものと指摘。

・国の長期ビジョンも無謀に楽観的
に厳しく指摘した。(合計特殊出生率で)

例えば、2015年第2の「まち・ひと・しごと
創生長期ビジョン」でも人口置換率の
2.07を回復せよと、地元の総理の言

△施策のKPI(重要業績評価指標)

・地方版総合戦略では、国から
KPIの設定が求められている

・多くの自治体の設定が、いかに減
KPIになっていると指摘。

総合戦略の中で特に重要な
人口ビジョンとKPI。

△人口ビジョンとは

・人口ビジョンには、どのような楽観的
な将来予測が記載されている。

(実際は、社人研の予測に近い
人口の減り方をしている)

・甘すぎる推計人口を基に策定された
市の様々な計画にも問題がはら

→市の総合計画も総合戦略で
設定されているKPIは、どのような
達成できなかった場合、何がまちの
かが分かるKPIの設定が大事。

《所感》

- 『あまのこ』発行のテーマで確認する
人口減少と国の施策の
タイトル通り、参加自治体議会
(1県8市の議員)のテーマを
比較して、各自治体の現状把握
認識を新たにさせる試みなど。

- R5の自然増の自治体はわずか4市
でそれ以外の17市は自然減。
参加1県8市は全て自然減。
八戸市は、-219人(自然減率の99%)

R5の社会増減は、

- 1県4市は社会増で、最多増は
茅ヶ崎市で、256人(社会増率1.04%)
八戸市は、-850人(社会減率0.34%)

全国的に見ても、社会増の自治体は少
割増、社会減は半分弱で、
今回の参加自治体でも、同様な
傾向だった。

- 人口減少が地域にもたらす課題
は多岐にわたる。
見当分の減収による公共サービスの縮小
・スポンサー不足、消費人口減少による地域
経済の衰退、人口減少時のインフラ
維持の困難、少子化による教育機
会の問題、空き地・空き家の問題……。
さらには施策の多岐にわたるが、
人手に代わるデジタル技術の導入

は不可欠であるが、いかに住民参加型の
地域づくりを推進するかが鍵となる。
インフラの維持が困難になるが、これら
地域・住民の参加の仕組みづくりが
求められる。

- 人口ビジョンにおける人口の将来展望。
・ 将来人口の推計では、1市と2市の
将来予測が楽観的と指摘。
・ 国立社会保障・人口問題研究所
(社人研)の推計が現実に近い
推移を示しており、どの市も人口予測
が甘いことは、公共施設等総合
管理計画、福祉計画等々の計
画も甘過ぎる予測に基づくと計画
となる問題を指摘していると苦言
を呈した。
・ 当市の人口ビジョンの将来人口の
推計を注視したい。
希望的観測で設定していないか
過ぎる推計と現実の乖離の
検証を踏まえた検証としていくか
等々

- 黒瀬氏は、総合戦略の中で重要な
は人口ビジョンとKPIを挙げて
いる。
KPIとは、次に示すものは
その仮定がもたらす複雑な状況が
多いと指摘した。

(5月14日 圓子 記)

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年2月3日

会派名 新緑・無所属の会
代表者名 伊 藤 圓 子 様

氏 名 伊 藤 圓 子
吉 田 淳 一



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 伊 藤 圓 子 議員
吉 田 淳 一 議員
- 2 期 間 令和7年2月12日（水）～令和7年2月13日（木）
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 八戸ふるさと交流フォーラム
- 5 支出可能額（上限額） 110,820円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【伊藤議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎				
行	2/12	本八戸駅発	9:50	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考
き	2/12	永田町駅着	13:34	早見表				
帰	2/13	永田町駅発	11:17					
り	2/13	本八戸駅着	18:29					
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	638.8k	9,790	17,620	本八戸⇄有楽町 (往復割引)
				急 行 料 金	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	△200	△400	閑散期割引
				急				
				特別車両 料 金	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				東京⇄有楽町	2	180	360	有楽町⇄永田町
				宿泊料	1	13,900	13,900	東京都区内泊 (2/12)
				小 計			55,220	
				合 計 (小計×人数)			55,220	1名

令和6年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程

■日程 令和7年2月12日(水)～13日(木)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 伊藤 園子 議員

月日	行程										宿泊先
2/12 (水)	本八戸駅 9:50発	JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km	八戸駅 10:07発	JR新幹線はやぶさ 14号 東京行 (167分) 631.9km	東京駅 13:23発	JR山手線 品川方面行 (2分) 0.8km	有楽町駅 13:30発	東京メトロ有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km	永田町駅 13:40発	徒歩 (10分) 1.9km	宿泊先 13:50着
	宿泊先 17:00発	徒歩 (3分)	ルポール麹町	ふるさと交流フォーラム							
2/13 (木)	宿泊先 18:29着	徒歩 (10分)	永田町駅 18:17発	東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km	有楽町駅 18:27発	JR山手線 東京方面行 (2分) 0.8km	東京駅 18:29発	JR新幹線はやぶさ 29号 新田原北行 (171分) 631.9km	八戸駅 18:20発	JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km	本八戸駅 18:29着

東京都内

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【吉田議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎				
行				区 分	基 数	単 価	金 額	備 考
き	2/12	鮫駅発	9:35					
	2/12	永田町駅着	13:34	早見表				
帰	2/13	永田町駅発	11:17					
り	2/13	鮫駅着	18:48					
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	645.7k	10,010	18,000	鮫⇄有楽町（往復割引）
				急 行 料 金	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	△200	△400	閑散期割引
				急				
				特別車両 料 金	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				東京バス	2	180	360	有楽町⇄永田町
				宿泊料	1	13,900	13,900	東京都区内泊（2/12）
				小 計			55,600	
				合 計（小計×人数）			55,600	1名

令和6年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程

■日程 令和7年2月12日(水)～13日(木)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 吉田 淳一 議員

月日		行程										宿泊先										
2/12 (水)		蛟 駅	JR八戸線 八戸行	(24分)	09:35発	八戸 駅	JR新幹線はやぶさ 14号 東京行	(167分)	10:17着	東京 駅	JR山手線 品川方面行	(2分)	10:35着	有楽町 駅	東京メトロ有楽町線 和光市行	(4分)	10:40着	永田町 駅	徒歩	(10分)	13:50着	宿 泊 先
								631.9km				0.8km				1.9km						
		宿 泊 先			17:00発	ルポール麹町			17:30着	20:30発												
			徒歩	(3分)																		
		ふるさと交流フォーラム																				
2/13 (木)		宿 泊 先	徒歩	(10分)	09:00着	永田町 駅	東京メトロ有楽町線 新木場行	(4分)	09:17着	有楽町 駅	JR山手線 東京方面行	(2分)	09:19着	東京 駅	JR新幹線はやぶさ 29号 新田原北斗行	(171分)	09:20着	八戸 駅	JR八戸線 蛟行	(28分)	09:48着	蛟 駅
												0.8km				631.9km						

第5号様式（第6条、第8条関係）

令和7年3月7日

会派名 新緑・無所属の会

代表者名 伊 藤 圓 子 様

氏 名 伊 藤 圓 子
吉 田 淳 一



調査視察等報告書

令和7年2月3日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

1 旅行者 伊 藤 圓 子 議員
吉 田 淳 一 議員

2 期 間 令和7年2月12日（水）～令和7年2月13日（木）

3 場 所 東京都千代田区

4 行 程 別紙のとおり

5 支出額 85,720円

6 概 要 別紙のとおり

令和6年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程

■日程 令和7年2月12日(水)～13日(木)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 伊藤 園子 議員

月日	行程										宿泊先
2/12 (水)	本八戸駅 9:00発	JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km	八戸駅 9:59着 10:17発	JR新幹線はやぶさ 14号 東京行 (167分) 631.9km	東京駅 13:08着 13:23発	JR山手線 品川方面行 (2分) 0.8km	有楽町駅 13:35着 13:50発	東京外有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km	永田町駅 13:57着 18:40発	徒歩 (10分)	信泊 先 13:50着
	信泊 先 17:00発	徒歩 (3分)	ルポール麹町	ふるさと交流フォーラム							
2/13 (木)	信泊 先	徒歩 (10分)	永田町駅 11:00着 11:17発	東京外有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km	有楽町駅 11:20着 11:27発	JR山手線 東京方面行 (2分) 0.8km	東京駅 11:29着 11:50発	JR新幹線はやぶさ 29号 新函館北斗行 (171分) 631.9km	八戸駅 18:14着 18:20発	JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km	本八戸駅 18:29着

東京都内

田加參

参加者 吉田 淳一 議員		月日		行程		宿泊先						
2/12 (水)	宿泊先	鮫 駅	JR八戸線 八戸行 (24分) 13.0km	八戸 駅	JR新幹線はやぶさ 14号 東京行 (167分) 631.9km	東京 駅	JR山手線 品川方面行 (2分) 0.8km	有楽町 駅	東京メトロ有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km	永田町 駅	徒歩 (10分)	宿泊先
2/13 (木)	宿泊先	宿泊先	徒歩 (10分)	永田町 駅	東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km	有楽町 駅	JR山手線 東京方面行 (2分) 0.8km	東京 駅	JR新幹線はやぶさ 29号 新函館北斗行 (171分) 631.9km	八戸 駅	JR八戸線 秋行 (28分) 13.0km	鮫 駅

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	3
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No.123789

2025年3月7日

伊藤 真子 様

金 額	¥42720
-----	--------

貼 収入
用 印紙

但し J.R. 宿泊代とは

10%対象(税込) 42720

内 消費税 884 円 上記の金額正に領収致しました。

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	

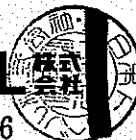


北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151(代)



扱 者 印



領 収 証

No.123790

2025年3月7日

吉田 淳一 様

金 額	¥43000
-----	--------

貼 収入
用 印紙

但し J.R. 宿泊代とは

10%対象(税込) 43000

内 消費税 909 円 上記の金額正に領収致しました。

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	



北日本トラベル

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22-5151(代)



扱 者 印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

伊藤 圓子

御中

令和7年2月5日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年2月12日～2月13日
ご旅行方面 東京都
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 42,720 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	28,640			28,640	2/12 本八戸～東京(往復)
宿泊代	1	14,080			14,080	2/12 アパホテル永田町半蔵門駅前
明細金額小計					42,720	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					42,720	消費税10% 3,884円

特記事項 宿泊:シングルルーム 食事なし

ご旅行代金明細書

吉田 淳一 様

令和7年2月12日
北日本トラベル株式会社
店長 大久保 正人
青森県八戸市廿三日町1-1
電話 0178-22-5151
担当 [REDACTED]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年2月12日～2月13日
ご旅行方面 東京都
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 43,000 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	28,920			28,920	2/12 鮫～東京(往復)
宿泊代	1	14,080			14,080	2/12 アバホテル永田町半蔵門駅前
明細金額小計					43,000	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					43,000	消費税10% 3,909円

特記事項 宿泊:シングルルーム 食事なし

研修報告書

- 名 称：令和6年度八戸ふるさと交流フォーラム
- 日 時：令和7年2月12日（水） 17：30～20：30
- 場 所：ホテルルポール麹町 東京都千代田区平河町 2-4-3
- 参加議員：新緑・無所属の会 伊藤 圓子、吉田 淳一
- 目 的：首都圏で活躍されている、東京在住の関係者と交流を行う。市長とパネリストによるパネルディスカッションを行い、当市の現状や課題、今後の取組について理解を深め、今後の市政の発展に資する事業について知見を深めるため。

○内 容：

1. 主催者挨拶 八戸市長 熊谷 雄一氏
2. 地元各界代表紹介 八戸商工会議所会頭 武輪 俊彦 氏
一般財団法人 VISIT はちのへ理事長 佐々木 伸夫 氏
3. 市政報告 八戸市長 熊谷 雄一氏
4. パネルディスカッション
テーマ「スポーツによる 地域と経済の活性化」
パネリスト
 - ・株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー 取締役副社長／株式会社KX 取締役 鈴木 秀樹 様
 - ・女子レスリング選手／八戸市スポーツ大使 伊調 馨 様
 - ・八戸市長 熊谷 雄一

○発言の要旨：

市政報告では、主に以下の内容が報告された

- ・令和6年度八戸市10大ニュースにおいて、今回初の試みとして、子どもモニター部門を設け、その違いについて報告されていた。市長としては、子どもモニター部門の第4位が「子ども医療費完全無償化」第5位が「給食費完全無償化」であるところについて興味深いとのこと。
- ・スピードスケート国際大会誘致事業では、令和6年に開催した3つの国際大会の経済効果が合計4億4千万円ほどとなった。
- ・Hachinohe X-Tech Innovation 事業では、3つの実証プロジェクトを実施していることや、実証プロジェクト終了後も事業化に向けて実施事業者と関係を継続させ誘致につなげたい。

そのほか、水素等導入推進PTの設置、子どもの声を聴く機会創出事業、市長との公

<所感> ○ パネリストの鈴木杏樹氏。○ 3年週音聲化
 J1鹿島アントラーズを育てると共に「今この瞬間を全力で」を
 アントラーズのコンセプトと活用しながら合言葉に闘い続けてきた。
 地域活性化を推進するために練習は、辛く朝前と暖かい時から
 まちづくり会社を設立した。やり込められてきた。
 地元の人々に応援され愛されるチームであり続けるためには、地域
 との一体感の醸成が必要と。偉業を成さげたことに繋がると
 まちづくりに関する視点と重視した。と語った。参加だけで大
 変な4年に1度のオリンピック。16年間のモチベーションを持ち
 点はやさやかである。読めることは並大抵でははいは
 人とやわらかい。まちづくりは、人材現に。世界選手権等へ向け
 採るから。その人材はまちづくりの起選手強化の監督として活
 爆剤となる。その人材のやる気ス躍中だが、「スリリング」のオチン
 ヲチを押し続け、人の心を繋がり、の地域貢献を念頭に
 かりで、新たな地域創出モデルで合宿などで進めばと
 ルがつけられる。嬉しい話をされた。
 この信念で、チームメンバーのユニフォーム能力アップを徹底的に
 やることでスキルアップを図る。実現されることを心待ちにしたい。
 「Asobiya スポー」は、10人の
 キャンで、毎日テーマ別に語り合う
 語り場となっている。
 現在、全国の20自治体と繋が
 り、まちづくりにうねり出ている。
 今後はさらに、鹿島の周辺の歴
 史をとりて、次の鹿島の30年を
 定義するステージへと進出する
 意気込みを語られた。
 一流のチームは、リードする人
 の気量に上比例するのだらう。

(伴 隆 圓子 記)

